

新学術領域「中性子星核物質」主催

第6回「中性子星の核物質」研究会 プログラム

2017. 12. 1 ~12. 3 理化学研究所 仁科センターRIBF棟

2017. 12. 1 (Fri)

13:00	田村 裕和 (東北大)	はじめに (領域代表)
13:10	中村 隆司 (東工大)	チュートリアル講演: “Physics of neutron star matter —why and how neutron star exists?”
13:40	中村 隆司 (東工大)	Report of activities of B02 group (計画研究B02代表)
13:45	梶野 泰宏 (立教大)	中性子過剰核のE1応答測定による対称エネルギーの制限
14:10	下浦 享 (東大CNS)	Tetra neutron system populated by RI-beam induced reactions
14:35	近藤 洋介 (東工大)	RIBFにおける非束縛酸素同位体 $^{25-28}\text{O}$ の質量測定実験
14:55~15:25 Coffee break		
15:25	民井 淳 (阪大RCNP)	原子核の電気応答と対称エネルギー
15:50	堀内 渉 (北大)	中性子スキン厚による圧縮性核液滴の表面張力の決定
16:10	佐川 弘幸 (会津大/理研)	The nuclear symmetry energy and the breaking of the isospin symmetry
16:30	元場 俊雄 (大阪電通大)	($e, e'K^+$) production spectra of p-shell Λ -hypernuclei
16:50	矢田部彰宏 (早稲田大)	中性子星の表面放射における偏光の体系的予想
17:10 ~18:00	Poster Session	
	藤岡 宏之 (京大)	J-PARC における崩壊 π 中間子分光によるダブル Λ ハイパー核探索実験に関する検討
	藤田真奈美 (東北大)	J-PARC E07における Ξ 原子X線分光実験
	石川 勇二 (東北大)	J-PARC K1.1ビームラインにおけるファイバー検出器の製作
	中里健一郎 (九州大)	原子核状態方程式が超新星からのニュートリノ放出に与える影響
	ほか	

2017. 12. 2 (Sat)

9:00 村上 哲也 (京都大) 高密度中性子過剰核物質の状態方程式を目指して (計画研究B01代表)

9:40 西村 美月 (理研) Collective Flow observation on SPiRIT-TPC experiments

10:05 大田 晋輔 (東大CNS) 巨大共鳴で探る中性子物質の状態方程式

10:30~11:00 Coffee break

11:00 高橋 俊行 (KEK) 計画研究A01のまとめと今後 (計画研究A01代表)

11:30 吉田 純也 (JAEA先端研) ダブルストレンジネス核検出実験:J-PARC E07の報告

12:00 市川 裕大 (JAEA先端研) HypTPCで探るハドロン物理

12:30~13:20 Lunch

13:30 根村 英克 (阪大RCNP) Σ -N and Λ -N interactions from 2+1 lattice QCD with almost realistic masses

13:50 武藤 巧 (千葉工大) Hadron phase with multi-strangeness and consistency with stiff EOS

14:10 稲倉 恒法 (新潟大) 中性子星内殻における超流動中性子と原子核の集団運動

14:30 関澤 一之 (U. Washington) Time-Dependent Density Functional Theory for Superfluid Dynamics in the Neutron Star Crust

14:50 飯田 圭 (高知大) L, クラスト震動, そしてパスタ

15:20 大西 直毅 (首都大) A Chiral Asymmetry Model for Magnetars

15:40~16:10 Coffee break

16:10 高橋 忠幸 (JAXA) 宇宙X線・ガンマ線観測による中性子星研究, 成果と今後の展開 (計画研究C01代表)

16:30 米田 浩基 (東京大) X線衛星による重力赤方偏移した中性子星大気吸収線の探索

16:50 堂谷 忠靖 (JAXA) X線バーストを用いた中性子星の質量半径比の推定とX線衛星将来計画

17:10 牧島 一夫 (理研) 中性子星の新しい観測的手掛りの開拓

17:35 玉川 徹 (理研) 中性子星観測手法の革新と将来の展望
~17:55

18:00~20:00 懇親会

2017. 12. 3 (Sun)

9:00	堀越 宗一 (東京大)	冷却原子研究による希薄中性子物質の研究: まとめと展望 (計画研究B03代表)
9:30	Yiping Chen (東京大)	Sympathetically created attractive Bose-Einstein condensates and their critical behaviors
9:50	向山 敬 (大阪大)	冷却原子系における p波非弾性散乱特性の評価
10:10	中務 孝 (筑波大)	中性子星クラストに対する自己無撞着バンド計算
10:30~11:00 Coffee break		
11:00	田島 裕之 (理研)	多成分フェルミ原子気体の強結合理論による非対称核物質の超流動相転移の解析
11:20	高塚 龍之 (岩手大)	中性子星のハイペロン超流動—観測整合的な状態方程式の下で—
11:40	山本 安夫 (理研)	核力に基づく中性子星半径
12:00	河野 通郎 (阪大RCNP)	カイラル有効場理論のバリオン間相互作用に基づく中性子物質の性質
12:20~13:20 Lunch		
13:20	田村 裕和 (東北大)	中性子星にストレンジネスはあるのか —パズルの解決へ向けて (計画研究A02代表)
13:40	小池 武志 (東北大)	Λ ハイパー核の荷電対称性の破れ
14:00	三輪 浩司 (東北大)	ハイペロン核子散乱実験
14:20	佐久間 史典 (理研)	The latest results from J-PARC E15
14:50 ~15:30	大西 明 (京大基研)	中性子星核物質の状態方程式: まとめと展望 (計画研究D01代表)